

緑のボランティア通信

2026.2.1

No.102

令和7年度

緑の活動団体交流会開催しました

12月14日(日)



目次

令和7年度緑の活動団体交流会開催しました	1
開催報告(緑の活動団体交流会)	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそうろう植物のヒトリゴト	4

開催報告（緑の活動団体交流会）

12月14日（日）多摩市民館大会議室で「令和7年度緑の活動団体交流会」が開催されました。一堂に会しての交流会は6年ぶりでしたが、出展パネルの前で途切れることなく交流を楽しんでいました。



鈴木勇一郎氏の講演会「川崎の行楽地と緑地」



風くるま作りのコーナー



協会のブース



市ブース前には話せる良い機会と人だかりが



記念品の手ぬぐい

緑のタウンページ・
緑のボランティア通信101号発行



緑のボランティア通信4面を飾っていた
「flower bed」のパネル

令和7年度 パネル出展団体

登録番号	団体名	区
2	中原区市民健康の森を育てる会	中原
53	水沢森人の会	宮前
55	まちはミュージアム遊歩道ファンクラブ	麻生
78	麻生多摩美の森の会	麻生
82	生田緑地の雑木林を育てる会	多摩
111	高津区市民健康の森を育てる会	高津
117	さいわい加瀬山の会	幸
118	日向山うるわし会	多摩
153	森もりクラブ	麻生

登録番号	団体名	区
159	南野川特別緑地保全地区管理運営協議会	宮前
204	はるひ野里山学校管理運営協議会	麻生
248	土橋園芸クラブ	宮前
262	生田根岸古墳の杜保全会	多摩
265	菅生ヶ丘緑地管理運営協議会	宮前
267	柿生の里クラブ	麻生
276	吹込クローバーの会	麻生
282	土橋矢上クラブ	宮前
348	エコガーデンはるひ野	麻生

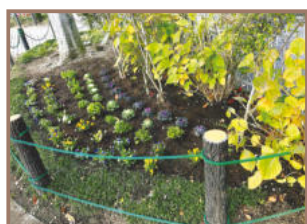
ご出展いただいた団体の皆さんお疲れ様でした

上並木公園管理運営協議会（2002年設立）



活動場所 上並木公園（川崎区日進町8-14）
交通案内 JR南武線「八丁畷駅」より徒歩6分

上並木公園管理運営協議会は、主に日進町の婦人部を中心に上並木公園の花壇の花植えをしたり清掃活動をしたりしております。川崎駅から10分ほどの住宅地にあり、午前中はグランドゴルフや保育園児の遊び場として午後からは近隣の方の憩いの場として、放課後は小学生達の遊び場として活用されております。公園の中央には高さ20メートルほどの欖クワナシの木がありシンボルとなっております。又、まわりには、



クチナシの花の木や沈丁花が植えられております。花壇は大小合わせて5ヶ所あり、年に2回ほど花植えを行っております。5月には夏の暑さに強い花をと考えてマリー



ゴールド、ペンタス、ジニア、コリウスなどを選んでおります。11月の花植えには、シクラメン、葉ボタン、ビオラ、パンジー、ノースポールなどを植えております。

ここ2、3年は異常な暑さで水やりなどをしっかりしても花のつきが悪かったり元気がなくて綺麗に咲いてくれないのが悩みです。何の花がいいのか毎回試行錯誤しています。そんな中、公園に来られる方より「素敵に花が咲いていますね」と声を掛けられると嬉しい気持ちになりとても励みになります。町内会の役員の方や班長さんなど皆様協力して草刈りや草むしり、枯葉を掃いたりと月2回の清掃活動も行っております。地域の方々が気持ちよく利用していただけるようにこれからも美化活動を行って行きたいと思います。（村上 眞弓）

花と市民参加の会“コスモス”（2002年設立）

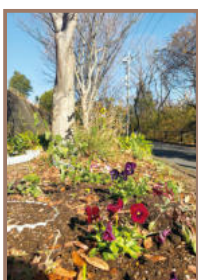


活動場所 白山3号線63本のケヤキ並木（麻生区白山4-6地先）
交通案内 小田急バス「真福寺小学校」下車徒歩約7分

私たちが活動している場所は400mの一方通行道路で、63本のケヤキや歩道脇のスペースを花壇にしています。草刈り、種まき、水やり、清掃など季節ごとの管理を13名でしています。この道路はもともと雑草の生い茂る暗い道で、粗大ごみの不法投棄もあり治安上も不安な場所でした。当団体を結成する10年前から5～6人の有志で活動していましたが、行政と連携して活動するために2002年9月「花と市民参加の会“コスモス”」を結成しました。400mと長い活動地域なので、4ブロックに分け、グループごとにエリアを担当し活動しています。



現在は、年々草花が根付いてきて景観が整ってきたことにより、散歩やジョギングのコースや、写真の撮影スポットとして近隣の方々に親しまれています。例年11月から行っているケヤキの落ち葉清掃では大量の落ち葉が集まります。ですがその落



ち葉は、川崎授産学園さんに回収していただき腐葉土にしております。腐葉土は培養土の一部として花壇に利用しています。困っていることは、この400mの長さの花壇に水道がないことです。近隣の公園や各メンバーの自宅から水を運んでいます。メンバーの高齢化と、後継者が育たないことが悩みです。ですが地域の方々に愛される散歩道として感謝のお声をいただくことを励みにがんばっています。（川名 慶子）

いそうろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそうろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。

じぶんで
コツコツ
がんばろう！

23 「オギ」

(イネ科・ススキ属)

Miscanthus sacchariflorus

オギは、日本各地の河川敷や湿地に広く分布する大型の多年草。秋に出る太く密な穂は、長い毛が湿度で開閉し、風を受けるたびに少しずつ種子を放つ仕組みを備えている。特徴的なのは、一気に遠くへ運ばれるのではなく、中距離へ確実に領域を広げるスタイルであること。さらに地中では地下茎が横へ伸び、地上の散布と組み合わせることで、1つの地域に厚みのある群落を築いていく。コセンダングサのように動物に依存して運ばれる種とは違い、オギは自分の足を堅実に広げる“面で攻める植物”。多摩川などで見事な群落が生まれるのは、この二段構えの戦略によるものである。

だれか
わたしを
連れてって！

24 「コセンダングサ」

(キク科・センダングサ属)

Bidens pilosa var. *pilosa*

コセンダングサは、南アフリカ原産で、日本の各地で広く見られる多年草。道端や河川敷などに群生し、秋には特徴的な“ひつつき虫”のタネを付ける。このタネの先には釣り針のような返しがあり、動物の毛や人の衣類に刺さると抜けにくい構造になっている。これは動物に遠くまでタネを運ばせるための巧みな進化で、晩秋に熟するのも動物の移動が増える季節に合わせた戦略。今では、草むらに入ってきた人にくっつき、自然に落ちるため、生育に適した環境へ効率よくたどり着く。身近な迷惑物扱いをされるが、実は植物が生き残るための見事な知恵を持っている。

ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究家)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりにされてしまいますが、そんな“いそうろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力1
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>